霧島市立医師会医療センター　No. 303　2023 年 2 月

薬剤部 DI ニュース

インフルエンザ治療薬について

◇吸入薬

リレンザ®（ザナミビル水和物）

（用法）治療：成人・小児　1 回 10 mg（5 mgブリスターを 2 ブリスター） 1 日 2 回、5 日間
予防：成人・小児　1 回 10 mg（5 mgブリスターを 2 ブリスター） 1 日 1 回、10 日間

＊添加物として乳糖水和物（乳蛋白）を含有。乳製品にアレルギーのある患者さんは注意

イナビル®（ラニナミビルオクタン酸エステル水和物）

（用法）治療：成人・10 歳以上の小児　40 mg（2 容器）を単回吸入
10 歳未満の小児　20 mg（1 容器）を単回吸入
予防：成人・10 歳以上の小児　40 mgを単回吸入　または　20 mgを 1 日 1 回、2 日間吸入
10 歳未満の小児　20 mgを単回吸入

＊添加物として乳糖水和物（乳蛋白）を含有。乳製品にアレルギーのある患者さんは注意

◇内服薬

タミフル®（オセルタミビルリン酸塩）は当院採用薬として剤形が 2 種類あります。

オセルタミビルカプセル 75 mg

以下の用法・用量で経口投与を

	対象	投与法	投与日数
治療	成人 体重 37.5 kg以上の小児	1回 75 mg、1 日 2 回	5 日間投与
予防	成人	1回 75 mg、1 日 1 回	7～10 日間投与
	体重 37.5 kg以上の小児	1回 75 mg、1 日 1 回	10 日間投与

＊腎機能により調整が必要な薬剤になっています。

（成人患者 10＜Ccr≦30 の場合、治療：1 回 75 mg、1 日 1 回　予防：1 回 75 mg、隔日内服を目安）

タミフル®ドライシロップ 3%

以下の用法・用量で経口投与を

	対象	投与法	投与日数
治療	成人	1 回 75 mg、1 日 2 回	5 日間
	幼小児	1 回 2 mg/kg、1 日 2 回 （1 回上限 75 mg）	5 日間
	新生児・幼児	1 回 3 mg/kg、1 日 2 回 （1 回上限 75 mg）	5 日間
予防	成人	1 回 75 mg、1 日 1 回	7～10 日間
	幼小児	1 回 2 mg/kg、1 日 1 回 （1 回上限 75 mg）	10 日間

＊腎機能により調整が必要な薬剤になっています。

（成人患者 10＜Ccr≦30 の場合、治療：1 回 75 mg、1 日 1 回　予防：1 回 75 mg、隔日内服を目安）

ゾフルーザ®20 mg錠（バロキサビル　マルボキシル）

以下の用量を単回投与

	年齢	体重	用量
治療	成人・12 歳以上の小児	80 kg以上	80 mg
		80 kg未満	40 mg
	12 歳未満の小児	40 kg以上	40 mg
		20 kg以上、40 kg未満	20 mg
		10 kg以上、20 kg未満	10 mg
予防	成人・12 歳以上の小児	80 kg以上	80 mg
		80 kg未満	40 mg
	12 歳未満の小児	40 kg以上	40 mg
		20 kg以上、40 kg未満	20 mg

◇注射薬

ラピアクタ®点滴静注液バッグ 300 mg（ペラミビル水和物）

（用法）成人　通常は、300 mgを 15 分以上かけて単回点滴静注

重症化するおそれがある場合は、1 日 1 回 600 mgを 15 分以上かけて単回点滴静注

小児　10 mg/kgを 15 分以上かけて単回点滴静注（上限は 600 mg）

＊腎機能により調整が必要な薬剤になっています。

腎機能	1 回投与量	
	通常	重症化のおそれあり
30≦Ccr＜50	100 mg	200 mg
10≦Ccr＜30	50 mg	100 mg

◇インフルエンザによる異常行動

インフルエンザ治療薬の服用の有無や種類にかかわらず、異常行動をおこすおそれがあります。

【異常行動の例】

・突然立ち上がって部屋から出ようとする。

・興奮して窓を開けてベランダに出て飛び降りようとする。

・自宅から出て外を歩いていて、話しかけても反応しない。

・人に襲われる感覚を覚え、外に走り出す。

異常行動は、就学以降の小児・未成年者の男性で報告が多く、発熱から2日間以内に発現することが多いことが知られています。

小児・未成年者がインフルエンザにかかった時は、発熱から少なくとも 2 日間は一人にせず、就寝中を含め窓の鍵を確実にかけるなど、異常行動に備えた対策をお願いします。

【参考文献】

各種薬剤の添付文書　各種製薬会社ホームページ　厚生労働省ホームページ　:https://www.mhlw.go.jp

（薬剤部　徳永）